

「なぜ？」を一緒に考える

本園は2020年、子どもが主体的に自然に関わり、興味の対象に「思いを寄せる」中で、その思いを深めるための“きっかけ”に着目し、2021年は、その“きっかけ”の要因の一つである“人とのつながり”に着目しました。子どもたちはみずみずしい感性を発揮して多様な気づきをし、対話を通して思考を深める中で探究心が満たされる体験をしています。また、探究心に添ったICTの活用や地域や専門家との連携の工夫により、生き物の種別や性別、命へ考えを巡らせて生き物の本質に迫る「科学する心」が育まれました。

オオムラサキとのかかわり ～つながり 対話することで 深まる思考～ 4～5歳児 6月

方向性

身近に体験している事象に対して心動かす中で、子どもたちに、「それは何?」「なぜ?」と、その事実や真偽を確かめたいという思いが生まれる。そして、身近な人とその事象を共有し、つながりの中で思いや考えを出し合い、解決していこうとする。また、対話を通して、自分だけではわからなかった事実や視点の広がり生まれ、子どもなりに推論したり納得したりし、気持ちが満たされると、更に新たな気づきが生まれる。こうして、「もの・こと」などへの思いが膨らみ、興味を深めて追究しようとする過程で、思考は深まり、真実に近づいていく「対話」を大切に支える。

エピソード
1

友達との対話で“比べる”面白さに気付く

地域に生息するオオムラサキの飼育活動に関わっている M 先生からいただいたサナギ（オス）の羽化を動画撮影し、4・5歳児で鑑賞した。後日、4歳児 A さんがオオムラサキ（メス）を園に持ってきて、友達に見せていた。保育者は翅（はね）の色の違いに気付いたが、子どもたちはどのように感じているのかと思い、「この前のオオムラサキと一緒にだった?それとも違った?」と尋ねた。園で羽化したオオムラサキと A さんのオオムラサキとの違いに気付く工夫として、大型テレビに動画を写したり、翅を広げている様子など、見比べたいと思っている瞬間の画像を手元で見られるようにしたりして、思い思いにじっくり繰り返し観察できるようにした。

同じに気付く	違いに気付く	新たな視点をもつ
B さん：この前の翅には白い線がある。 A さんのオオムラサキにはない。 C さん：線があるで B さん：ほんとや。 どっちにも白い線がある。	D さん：白と黒で翅の色は似ているけれど、白い模様の大さが違うなあ。 B さん：ほんとや。 触覚の長さも違うで。	E さん：翅の裏も見えてみたい。 この前の翅の裏は黒い所があるけれど、A さんののは全部白い。

比べること
の面白さに
気付く

考察

羽化に感動した園の蝶と、4歳児が持ってきた同じ種類の蝶を、みずみずしい感性で観察する子ども同士が対話することで、思いや気付きを伝え合い、翅の色や模様を比べ、違いや同じを発見している。対話により分類という見方や考え方をする面白さを味わい、蝶への親しみや興味を深めている。

エピソード
2

5歳児・4歳児との対話で“新たな視点や発見”が生まれる

園で羽化した蝶とAさんの蝶の違いに疑問をもち、話し合っている。



5歳 Gさん：オスとメスの違いじゃない？

4歳 Dさん：オスとメスって 何？
Eさん

5歳 Fさん：オスは男の子で、メスが女の子なんやで。

図鑑に左がオスで右がメスって書いてある。

5歳 Gさん：じゃあ、Aさんのオオムラサキはどっちや？

4歳 Dさん：Aさんのオオムラサキはオス？それともメス？
Eさん

5歳 Fさん：図鑑に載っているメスのオオムラサキの翅の色も模様も色が濃いけど、Aさんののは、薄いねんなあ。

5歳 Gさん：メスじゃないならオス？

5歳 Fさん：前のは青っぽかったのを覚えているから、あれはオスやったと思うけど

4歳 Dさん：どっちも似てないなあ。確かに、ぴったりのがないね。
Eさん

5歳 Fさん：いや、前みたいに青色が入っていたら、絶対分かると思うねん。

翅も模様もちょっと薄いけど、これは絶対メス！

5歳 Gさん：確かに、そうかもしれん。これは、メスや！

4歳 Dさん：ほんまや、メスやメス！

4歳 Eさん：そっかあ。メスなんや！



新たな視点
で比べる
オス・メス
の違いに
気付く

エピソード
3

対話を通して、気づきや疑問が生じ、生き物の本質に迫る

オオムラサキが新たに羽化した動画を見た後で、オスかメスかについて対話が続き、メスだと意見が一致した。「色が青っぽい」「Aさんのオオムラサキと一緒にや」と、理由も話した。



オス・メスの違いに疑問をもち、考え合う

疑問① それでも、5歳HさんIさんが、翅の色が黒い方がオスで、きれいな色の方がメスだと思うと主張した。

4歳Dさん：驚いた顔で、「これは、メスだよ。だって色が…」と、
二人に説明したがHさんIさんはイメージしにくい様子であった。
そこで、図鑑を見ながら、オスとメスの違いを説明すると、

納得 2人は黒い方がメスだと納得できたようだった。

疑問② 5歳Hさん：「なんで、オスとメスで色が違うんだろう」

疑問③ 5歳Iさん：「なぜメスはきれいな色ではないのか」

気づき 図鑑でいろいろな蝶のオスとメスの写真を見るたびに、
「これもそう。あれもそう」と、そのページのたくさんの蝶に当てはまることに気付いた。

5歳Fさん：「生き物博士に聞いたらいいんじゃない？」
4歳Aさん：「生き物博士」と呟きながら探しに行き、5歳Jさんを見つけると、
「なんでメスはきれいな色じゃないの？」
5歳Jさん：「メスがきれいだったら危ないからじゃない？」。
保育者：（Jさんの言葉に、「なるほど」と思い）「なんで危ないの？」
5歳Jさん：「だって、狙われちゃうじゃん」
4歳Aさん：満足げな表情で「なるほど!そうだったんかあ」と納得した。
5歳Iさん：「じゃあ、なんでオスはきれいな色なの？」
5歳Jさん：少し考えて、「メスに好きになってもらうためじゃない？」
納得 5歳Iさん：「なるほど。そうかもしれない」とスッキリした表情をした。

オス・メス違いには、それぞれ意味があることを知り、イメージしたこととの違いに納得する

考察

共通の関心事について対話する子どもたちに、翅の色や模様を比べ、オス・メスの違いという新たな見方や発見が生まれている。また、オス・メスのイメージと実際の特徴の違いに疑問をもったことで、オオムラサキだけではなく、他の蝶も同じだと視野を広げて疑問を深めた。これまでに対話を重ねた体験により、意見の違う友達や納得できない友達の考えや思いを尊重しているので、疑問は共有された。その対話により、オス・メスにはそれぞれの違いに意味があるという、生存や性に関する生き物の本質に迫る考え方が芽生えて疑問への思考が深まり、納得する体験につながった。